

美しい式番街

(No. 50, 平成 18 年 7 月 3 日)

コープ野村南流山式番街管理組合・保全専門委員会

テレビをよい画質で見するには アンテナ端子からのチェックを！

「トラッキング現象火災*の予防を」と久振りにテレビを前に出してコンセントを外して掃除しました。そして「ちょっと実験を」と住居の BS デジタル放送対応テレビに、昔の BS アナログ放送用の分配器をつけて BS デジタル放送の受信状態を確認しました。すると画面にデジタル放送特有のブロックノイズが現れ、晴れてるのに「降雨のため、電波状態が悪いです」とメッセージが出ました。「ブースター、混合器、分波器にはデジタル放送で使用するには十分な性能でないものがある」とは聞いていましたが、それに該当したようです。

BS デジタル放送や地上デジタル放送を安定して受信するには分配器や同軸ケーブルなどをデジタル放送対応にした方がよいことを改めて気づかされた実験でした。



図1 BS デジタル放送受信で不具合を生じたアナログ放送時代の分配器



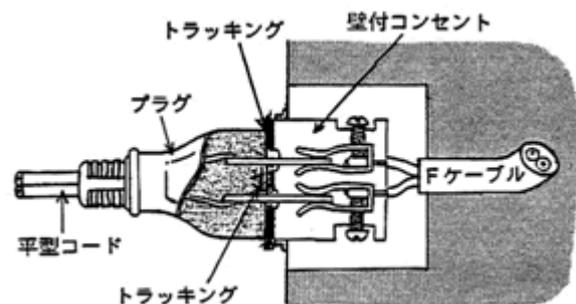
図2 左：BS デジタルマーク
右：デジタルハイビジョン受信マーク

(社)電子情報技術産業協会では良好なテレビ受信を目的にデジタルハイビジョン受信マーク制度(図2、平成15年11月までのBSデジタルマークに対応)を運用していますのでこの表示を見て選びましょう。

また、室内同軸ケーブルはデジタル放送対応をうたった外来ノイズの遮断能力が高い製品(S-4C-FB以上の二重シールドケーブルでプラグ部分はシールド性の高いもの)を選ぶことも重要です。

「まだ、地上アナログ放送のテレビを使っているから」というお宅でもテレビ塔からの電波が窓サッシで誘導されて外来ノイズとして画質の劣化を生じさせることから、アナログ放送の画質の改善にもデジタル対応の同軸ケーブルや分配器に交換することは有効です。これに該当する事例が当マンションでも多く報告されています。

*：トラッキング現象火災



差し込みプラグを長期間コンセントに差し込んだままの状態で使用すると、湿気やほこりなどが付着して放電を起こし、やがて絶縁状態が悪くなって炭化現象を起こしてショートして発火する現象。対策は

- (1) プラグはコンセントに隙間なく差し込んで、緩みなどのない状態で使用し、また、長期間差し込んだままにしない。
- (2) コンセントの差し込み部とプラグとの間を定期的に点検し、ほこりなどがたまらないようにする。
- (3) コンセントの近くには燃えやすいものを置かない。